明るく すなおで たくましく

東明中だより 東魂

生徒会テーマ：笑顔 ～「みんな」と「本気」で～

R1年6月6日№5
佐世保市立東明中学校
文責　郷原　正浩

◎佐世保市の6月は「いのちを見つめる強調月間」です。
5月31日1校時目に「いのちの講話」（校長講話）を実施しました。

校長講話では、次のことを話しました。

（1）自分自身の存在は「唯一無二」の存在であり、（世界の人口の）約７５億分の１の存在であること。少し大げさにいうと、この広大な宇宙の中で「たった一人しかいない存在」であること。そして、自分の代わりは絶対に存在しないこと。

（2）「いのち」は、両親、祖父母、曾祖父母、さらにその遠い先祖の奇跡的な出会いがあってこそ存在するものであり、遠い昔から大切に「いのち」という「たすき」が引き継がれてきたからこそ、ここに存在できていること。もし、この長い歴史の中で、ただの一回でも出会いがすれ違いに終われば、ここには絶対に存在しない「奇跡のいのち」であること。

（3）しかし、「いのち」には寿命がある。だからこそ貴重なものであり、その「いのち」の重みを感じ、一瞬一瞬の今を大切に生きることが大事であること。そして限りある「いのち」だからこそ、与えられた「いのち」に感謝し、自分も周囲の人も大切にすること。

（4）そのためには、「内なる眼」（自分はこうありたい。こうなりたいという理想とする自分の姿を見る眼）と「外なる眼」（自分の言動をどうなのかを客観的に見る眼）をもつことが大事であること。常に内省する眼と俯瞰的に自分を見る眼をもちあわせれば、人の道をはずれるようなことはしない。

（5）「いのちを見つめる強調月間」「長崎っ子の心を見つめる教育週間」は、長年にわたり取り組まれている。この取組の趣旨を十分に理解し、事件を教訓としてしっかりと受け止め風化させないことが私たちの使命である。そして、二度と佐世保市から長崎県からこのような事件を出さない、起こさないことを決意し、豊かな心を育んでいくこと。

以上、短い時間ではありましたが、生徒が少しでもわかるようにパワーポイントを活用し話をしました。下記に挙げるのは、各学年からあがった感想の一部です。

≪生徒の感想　(1)≫

【１年生】

◎あなた自身を見つめて、あなたはどうありたいと思っていますか？

○地球上、宇宙上でたった一人のかけがえのない存在なので、一日一日を大切にしながら周りの人と楽しく生きていきたいと思いました。周りには、いろんな人がいるので私は私なりに自分の個性を生かしながらたくさんの人と関わり合っていこうと思います。（T．M）
○私は人に流されずちゃんと意志をもてる人になりたいと思っています。時には友だちが間違いをおこすことがあると思います。その時は、友だちに流されず正しい道に導いてあげれるような人になりたいです。（F．R）
○私は自分の意見を強くもってしまう方なので、自分と相手の話し合いを客観的にみるまで、時間がかかります。今日の講話を聞いて、外なる眼を大事にしよう、意識しようと思いました。（T．S）

◎あなたは、家族や友人、周囲の人々に対して、どのように接していこうと思いますか？

○私は、感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいです。今私がいるのは家族や友人がいるからです。だから毎日楽しく過ごせているから日頃から感謝の気持ちを忘れず過ごしていきたいです。（F．R）
○内なる眼、自分の意思をもつことも大事だけど、外なる眼、人の意見も聞く、客観的に見て発言したい。（T．S）
○良いことはいい、悪いことはダメなどとしっかり教えれるようになって、安心して頼ってくれるように優しく接していこうと思います。（F．S）
○どんな人でも優しく接して、差別のない国にしたいと思いました。たった一言でも相手の読み取り方により、ケンカやいじめに繋がっていくので、自分の言葉や行動をしっかり考えていろんな人と接していきたいと思います。（T．M）



【２年生】

◎あなた自身を見つめて、あなたはどうありたいと思っていますか？

○私は、何事にも頼られる人になりたいです。また、全ての命に感謝して自分が生まれてきたことのすばらしさを忘れず、毎日生き生きと過ごしたいです。友だちが悩みごとをしていたら話を聞いたり力になってあげたいです。いつかは少しおおげさだけど友だちやその他周りの人に生きていて良かったなと思われる人になりたいです。（N．H）
○今日の講話で、自分が唯一無二の存在であることが改めて自覚できたので、自分の命を大切にして生活したり、自分の意見を恥ずかしがらずに堂々と発表したりしていきたいです。（S．S）
○講話を聞いて、自分はこの世界の中のたった一人の存在であることに気づかされました。だから、誰かと自分を比べるということは無意味で、一人一人が大切な存在だと思います。私はこの世界に生まれたことに感謝し、どんな時も人と自分を大切にする強く優しい人間でありたいです。（H．M）

◎あなたは、家族や友人、周囲の人々に対して、どのように接していこうと思いますか？

○自分の周りにいる、先生、友だち、家族の人たちなどに、いつ、どこで、何が起こるかわからないし、明日大切な人がなくなってしまうかもしれないって思うと、とても心が苦しくなりました。私はたくさんの人に支えてもらいながら生活しています。私が支える立場になれるように人の嫌がることはしない。人が困っていたら助ける。みんなに感謝の心をもちながら、これからも生活していきたいと思いました。（T．R）
○家族や友人とあまり話したりせず自分のことだけを考えていました。だから友人とどう接したらいいのか迷っていました。「いのちを見つめる強調月間」を通して友人たちと仲よくし、これからの人生限られた時間しか僕たちは生きられないので、この一瞬一瞬を大切にして、周りの人間と仲よく接していこうと思いました。周囲や友だちが悩んでいたら助けられる存在になりたいです。（K．K）
○両親には今までどおり、生んでくれてありがとうの感謝の気持ちを忘れずに接していこうと思います。友人には、まずこの確率の中の奇跡で生まれてきてくれて、私の大切な人になってくれてありがとうと伝え、これからも相手の気持ちを考えて理解し、思いやりをもって行動します。周囲の人にも、私や他のみんなのそばで一緒に生きながら頑張ってくれている方たちに感謝の気持ちいっぱいでお話をしたり挨拶を笑顔でしたりします。（N．H）

※　３年生の感想文は次号に掲載予定です。

学校行事や市中体情報などは学校ホームページに掲載します。ぜひご覧ください！



〒859-3244　佐世保市江上町８１４番地
TEL0956(58)3937　FAX0956(58)5413
http://www.city.sasebo.ed.jp/jh-tohmei/asp/default.asp
e-mail：tohmeijh@city.sasebo.ed.jp